

## 「花 人」 水貴

蟬時雨介護保険に立ち会いぬ

泣いてみせ笑ってみせて片白草

一日の終えし合掌白芙蓉

胎内に戻り行くよな花月夜

線香花火ややこしきこと飛び散らす

立葵花のリレーのすこやかに

ホスピスを終と決めたり白き薔薇

夏椿小さな吐息で落つるかな

母の日のお返しすこし小言かな

ありきたりの事ありがた朧月

魔空間サクラサクラの呪文かな

色白の母の乳房や夕桜

天上の文ひらひらと花吹雪

花吹雪繋ぎあう手のビブラート

花しきみ無邪気な毒の白きかな

ホロホロと泣き真似するや凌霄花

命終の五角形なり白芙蓉

白辛夷弾けて空のポップコーン

帯留の落ちて五角の紅芙蓉

みんなの鳴いても泣けぬドライアイ

宙にある白き樞や朴の花

蛍来る光の言葉別れ告ぐ

友逝きて紫陽花の蒼深くあり

一抜けと友逝く知らせ更衣

月独人逝くも独人や朴の花

空に咲き空が恋しいサクラかな

二の腕に梔子の香の残る闇

咲き初めは花嫁のふり水芭蕉

星祭り星の音色のシンフォニー

蛍袋あちらこちらのかくれんぼ